

なぎさ

京急のまちマガジン
June 2023 No.639

特集 逗子・葉山駅
遊ぶことは、生きること



子どもたちに寄り添ってくれた京急

通学する2人の娘を、駅まで送り迎えした10年間。

新しい制服に着られている日。

改札からダッシュで走る姿に、

あぶないよと伝える日。

改札までの後ろ姿が楽しげな日、

心なしかしよんぼりの日。

気がついたらリクルート姿だった。

夢中で日々の生活を送っていると、

婚姻届保証人のハンコをもらいに帰ってくる娘が乗った

電車が見えた。

今は、孫の世話をしにホームで赤い電車を待つ私がいる。

京急と共に大きくなった、子どもたち。

作／ペンネーム・みち



あなたにとっての京急を詩にしてみませんか？

「忘れられないあの日の車内アナウンス」「学生時代に通った、恋人とデートしたあの駅・あのまち」京急沿線の思い出、お気に入りの電車や駅、車窓の風景など、『なぎさ』に掲載する詩を募集しています。

■応募方法／はがきか封書、またはEメールに下記必要事項をご記入の上、ご応募ください。

①詩とタイトル(詩は300字程度) ②郵便番号、住所 ③氏名(匿名希望の場合はペンネームも) ④年齢 ⑤性別 ⑥電話番号、(Eメール応募の場合)メールアドレス ⑦本誌のご感想

■締め切り／6月19日(月)消印有効

■応募先／〒220-0011 横浜市西区高島1丁目2番8号 ㈱京急アドエンタープライズ『なぎさ』639号 詩募集係
E-mail : nagisa.hiroba_e37@keikyuu-group.jp

※掲載された方には京急オリジナルQUOカード(1,000円分)を進呈します ※作品の掲載発表は冊子の発行をもって代えさせていただきます。応募作品は返却いたしません。誤字など応募作品に一部加筆・修正させていただく場合があります ※応募作品の使用権は京浜急行電鉄㈱に帰属します。発表の作品に著作権侵害等が発生した場合、一切の責任は負いかねます

読者プレゼントはWEB応募になりました！

右の二次元コードを読み込んでアンケートに回答してくださった方の中から、抽選で京急オリジナルQUOカード 1,000円分(20名さま)をプレゼント！

〔締め切り〕6月25日(日) 23:59



※ご応募いただいた方の個人情報は、作品掲載および賞品の発送以外の目的で使用することはありません

特集 逗子・葉山駅

遊ぶことは、生きること

今から10年ほど前、逗子に原っぱ大学が開校した。
山も海もある自然豊かな街を丸ごとフィールドにして、
大人も子どもも思いっきり遊ぶ大学だ。
ここでの学びをのぞくため、山の中のキャンパスへ。


原っぱ大学
HARAPPA UNIVERSITY

*Enjoy!
Great Nature*



ワクワクすることは、
ぜんぶ山の中にあった

ギョサンと短パンが塚越さんの夏のユニフォーム。「みんなには、山の中では靴を着用！ って言っています」(笑)

好きを追求して生まれた
『マイプロジェクト』

逗子・葉山駅から南下すること約1.5km。山道を分け入っていくと、ツリーハウスやターザンロープ、山肌でできたすべり台などがあらわれる。ここは、「原っぱ 大学 逗子キャンパス」の拠点『村や』。ガクチョーこと塚越暁さんのもとに集まった親子たちが、遊ぶために、遊びながらつくり上げてきたフィールドだ。

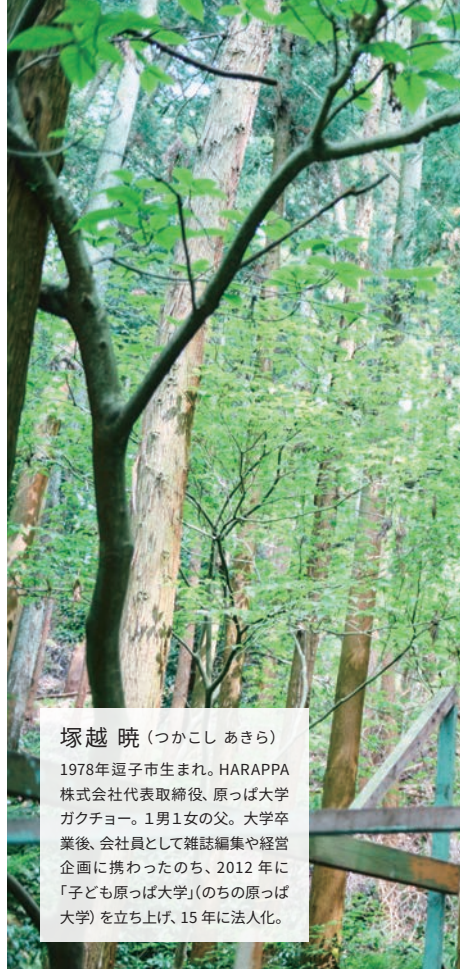
逗子に生まれ育ち、都内で会社員をしていた塚越さんが原っぱ大学を立ち上げたのは、東日本大震災を体験し、自身の働き方を見つめ直したことがきっかけだったという。

「自分がやるべきことを考えたときに、勤めていた会社で人生を捧げるのはどうも違うな、と思いました。だからといって何ができるか、何をしたいのかはわからなくて。そんなときに、自分がワクワクすることをマイプロジェクトにするこ



1
2
3
4

1. 『村や』の崖を登った先では、逗子が一望できる。ブランコは山の地主さんの手づくりだ。
2. 『村や』での一日はみんなで焚き火をおこすことから始まる。
3. 子どもたちがつくった“昼寝OK”の小屋。
4. 名物の「泥すべり台」。雨水で変形するため、日によって形や長さ、感触が異なり、一期一会なすべり心地が味わえる。



塚越 暁 (つかこし あきら)

1978年逗子市生まれ。HARAPPA株式会社代表取締役、原っぱ大学ガクチョー。1男1女の父。大学卒業後、会社員として雑誌編集や経営企画に携わったのち、2012年に「子ども原っぱ大学」(のちの原っぱ大学)を立ち上げ、15年に法人化。

いう起業スクールに出合ったんです」

自分が心からワクワクすることってなんだろう——。焚き火、ザリガニ釣り、素潜りで魚を捕る、サバイバルゲーム。塚越さんがたどり着いたのは、少年時代に逗子でしていた自然の中の遊びだった。「そこで、子ども原っぱ大学(原っぱ大学の前身)というプロジェクトをつくりました。当時は単発のイベントで、山に秘密基地をつくるというもの。20組の家族が集まり、お金を払い、一緒に泥んこになって秘密基地をつくったら、みんな『楽しかった!』と言ってくれました」

会社の看板ではなく、自分が旗をあげて仕事をする。この経験は、塚越さんにとってヒントになった。

「自分がワクワクすることで人を集めるということ、自分の大切にしているものを言葉にして発信するということ。勇気がいることだけれど、だからこそ人に届くんだということを実感しました」



ありのままの自分を大切にする

かくして、イベント形式で行われていた原っぱ大学がコース制になったのは2015年のこと。千葉と大阪にもキャンパスができ、会員家族はのべ600組になる。スタッフは40人ほど。初期に参加していた子どもが中学生や高校生になり、インターンとして手伝いにくってくれることもあるという。原っぱ大学を続けてきたからこそ生まれた循環だと、塚越さんは目を細める。

沢のぼりや泥祭りには、イカダづくり。季節に合わせた多彩なプログラムはあるけれど、ルールはない。ツリーハウスをつくる日にサッカーをする人がいれば、ただ穴を掘る人もいる。『村や』の環境を活用しながら自然に発生した遊びもまた、フィールドを形づくってきた。



この日の放課後サポールは山探検に行くことに。



Day in Harappa University

「それでいいんです。参加者それぞれのそのときの気持ちですべて、それを大切に積み重ねていくことで、ありのままの自分でいいんだと思えてくる。僕たちが子どものころに無心で遊んでいた時間は、自分自身を生きるひとときだったんですね」

参加者の中で変化を見せるのは大人のほうだ、と塚越さんはいう。

「学校では落ち着きがないと注意されている子がハツラツと走る姿を見て、安心する親。『村や』での予測不能なことを楽しむ子どもを見て、その手を離せるようになる親。先回りして心配したり見返りを求めたりすることなく、今、笑顔の子どもたちを見つめると、親は子どものあるまを信じられるようになる。原っぱ大学でつかんだ子どもへのまなざしを日常に持ち帰られていたなら、僕たちにとっても幸せなことです」

活動を通じて大人たちとより深く

つながらなければならないと感じ、オンラインで大人が学ぶ「大人の寺子屋」や男性を対象にした「俺のヨガ」などもスタツプら皆で企画、実施している。

古民家で過ごすもうひとつの放課後

逗子キャンパスには、もうひとつの拠点である古民家『100sai』がある。ここは、小学生を対象にした「放課後サポール」の場。学校を終えた子どもたちが集まり、教室では会えない友達や親でも先生でもない大人と過ごす。部屋を改築したり、漫画を読んだり、探検に出かけたり。予定していた外出先が気分に合わせてなくなることもある。そんなときは、行きたいところを多数決で決める。大人は何も教えない。子どもたちは思い思いの時間を過ごしなが、学校では味わえない放課後を満喫している。



1. 『100sai』は築100年以上の古民家。2. スタッフは会員の知り合いなどいろいろなシナプスで発生している。3. 探検中に見つけたカブトムシの幼虫。4. 小学生になったばかりの参加者も道なき道をずんずん登っていく。5. 足元だけでなく、周囲も観察しながら。6. おやつタイムは作戦タイム。どのルートで下るかを相談中。

僕たちが好きなのは
誰も通ったことがない道。
登り方も道も
自分たちで見つける。



ある日の放課後サポールの探検先は、満場一致で「山!」。理由は「旬だから」。今の山が美しいことを子どもたちは知っているのだ。

みうらの森林も遊び場に

今年の2月、京急電鉄が社有林の健全な管理を行う「みうらの森林プロジェクト」をスタートした。三浦半島にある手つかずの森林を適切に間引きすることで、森の若返りを図る取り組みだ。伐採した木々は再生可能資源として活用し、伐採後の土地はコミュニティや自然にふれあう場になる。原っぱ大学では、この場で遊べるコンテンツを京急電鉄と一緒に開発中だ。「森遊びは僕たちの十八番。好事例をつくって、森を未来につなげる一役を担えたら」

塚越さんのワクワクはフィールドを広げ続けている。



いっしょに遊ぼう！

原っぱ大学 逗子キャンパスへ行こう！



山も海も街も。どんなところも遊び場にする原っぱ大学。
「逗子の自然の中で遊びたい！」と思ったら、まずは体験へ。
現在、夏のプログラムと放課後サポールの体験参加者募集中です。

2023年夏の体験プログラム

🍷 6月18日(日)

自分たちでつくる原っぱ夏祭り 逗子市『村や』

疑似通貨「ハラッパ」が流通する、原っぱ大学恒例の小さなお祭り。射的場やくじ引き屋さんなど自分で出店したりアルバイトをしたりして、稼ぎながら遊びます。

📅 6月24日(土)

リトルっこ水びたしフェス 逗子市『村や』

水鉄砲やバケツを使って、ジャバジャバと水の掛け合い！大人も子どもも全身ずぶ濡れになって大はしゃぎする日です。体が冷えたらドラム缶風呂であたたまろう。



🌊 6月25日(日)

リアルスプラトゥーン カラフル水鉄砲 大バトル 逗子市『村や』

食用着色料で水に色を付けて繰り広げられるリアルスプラトゥーン。白いTシャツで参加して、大人も子どももカラフルに変身♪

⚠️ 8月5日(土)

逗子の森と海で 1日遊ぼう 逗子市『村や』ほか

2023年の夏は、逗子海岸の海水浴場がオープンする予定です。焚き火や泥すべり、森で思いっきり遊んだ後は、海へダイブ！



- 体験チケットは1家族1万1,000円、会員からの紹介の場合は1家族1回5,500円です。
- 対象年齢や注意事項など詳細を確認いただき、体験会員にご登録のうえ、お申し込みください。
- プログラムの詳細とお申し込みは右記二次元コードから。



放課後サポール体験

小学生を対象とした放課後の居場所です。
週に1回、火曜日と木曜日を交互に逗子の古民家『100sai』を中心に活動しています。

- 入会金1万6,500円(年会費含む) ■参加費<通常期>3,850円/回<長期休み期>8,250円/回(おやつ代含む) ■放課後サポールの詳細とお申し込みは右記二次元コードから。



<https://harappa-daigaku.jp>

<https://www.facebook.com/harappa.daigaku>

https://www.instagram.com/harappa_daigaku

原っぱ大学の活動内容や入会方法については、HPなどでご確認ください。

京急電鉄の謎 43

京急が誇るクロスシートの歴史

京

急は通勤通学だけでなく、三浦半島の観光地や羽田空港への足として活用されることも多い。それゆえ赤い電車は旅行客にもおなじみといえるが、旅の雰囲気さらに盛り上げてくれているのが、線路に対して直角に並ぶ「クロスシート」だ。首都圏の列車のほとんどが窓背にしたロングシートを採用するなか、京急は長きにわたりクロスシートにこだわってきた。実は京急を語るうえでクロスシートはとても重要な存在だ。

1951(昭和26)年登場、三浦半島の観光地化に貢献し有名になった500形は、藍色のモケット張りのクロスシートが採用されていた。京急油壺マリンパークが開業した60年代に活躍した600形に至っては当初は全席

がクロスシート。観光客に愛された。京浜工業地帯の大事な足であるだけでなく観光でも人気の鉄道だったことで、クロスシートの歴史が築かれていったのだ。この伝統は天皇陛下はじめ皇室とも縁の深かった2000形、現行の2100形にも引き継がれ、最新車両にもクロスシートが採用されている。

2021年5月にデビューした1000形「Le Ciel」は自動回転式シート(L/C腰掛)。平常時はロングシートでクロスシートにも変身する。イベント時とモーニング・ウィング3号などで運行しているので、ぜひチェックしてほしい。

ロングシートが当然の首都圏にあつて貴重なクロスシートの京急で、気軽に旅気分を味わおう。



上/高度経済成長期を支えた700形(旧600形)もクロスシート。戦後、ハイキング列車として活躍した。下/1957年に製造された700形の「ラメル号・パルラータ号」は、土曜日の午後のみ運転された週末特急だった。



1000形「Le Ciel」の車内。腰掛けモケットの波模様は三浦半島の海と空をイメージ。コートフック、ドリンクホルダー、コンセントも完備され、2100形のクロスシートより座席幅が10mm広い。



下/シェフを務める安齋さん。
右・左/居心地のいい店内もまた、廃材
や国産材を使用している。



いま、見えてくる 京急沿線の未来

File. **43**

顔の見えるつきあいだから
食べものも
人も大切にできる

もったいない食堂
三浦海岸店

2022年4月、(株)アツプサイクル
ジャパンが「もったいない食堂三浦海岸
店」を開店。地元の有機・無農薬野菜や、
近海で取れた魚から、余剰分や規格外の
「もったいない食材」を仕入れ、昼は定食
屋さん、夜は居酒屋さんを営んでいる。
「大きさや形がそろわない野菜、取れず
ぎたり傷ついたりした魚などを積極的に
使っています。こうした食材は、おいし
さや栄養面は変わらないのに、値がつか
なくて廃棄されたりしてしまうんです」
とシェフの安齋敦郎さん。
店の存在がフードロスなどの食の問
題を発信する場になれば、と考え、余剰・



①未利用魚や余剰野菜を使った総菜。「野菜の形や大きさは本来、バラバラなほうが自然ですよね」。②「この店をはじめから、魚をさばくようになったんです」と安齋さん。③人気のお刺身盛定食(1,800円)。店で使用する器も、ほとんどが人から譲り受けたもの。④魚と野菜を中心とした地元の食材を味わえるメニュー。⑤定番の午物定食(1,100円)、この日は未利用魚のカマス。

未利用食材使用率50%を目指しながら食材を仕入れ、メニューを考える。大切にしたいと思っているのは、「顔が見える」ということ。

「週に1回は、横須賀の農家を訪ねています。畑で、取れたての野菜を食べると『つまっ!』となりますね(笑)。この間は、近所の農家が店に余剰野菜を持ってきてくれたんです。以前、都内の居酒屋さんで店長をしていたときは、仕入れ業者を通して食材がポンと届いて、使って、余ったら捨てる、という感じでした。でも今は、『あの人がこれを用意してくれたおかげで、この料理ができた』と思える。顔が見えるおかげで、みんなできっていると感じますし、食材を一層大事にしておうと心がけています」

農家や仲卸の人、お客さんや店を手伝ってくれる人、近所の人……いろいろな人に支えられていることが安齋さんのパワーになっている。

距離が近い店内では、自然とコミュニケーションが生まれるという。子どものころは一緒に遊んでいた近所の人同士が



もったいない食堂 三浦海岸店

●三浦市南下浦町上宮田529
ペンギン荘1F ●三浦海岸駅から徒歩約11分 ●Instagramのカレンダー参照 休 月曜日
◎@mottainai.shokudo

店で居合わせて、「大人になって初めて話した」といううれしい偶然も。オープン1周年を経た今、安齋さんには新たな目標もある。

「近所に漁港があるので、そこつながらを持ちたいとか、生ごみを土に返せたらとか、いろいろ考えています。いちばんは、今やっていることを深めたいですね。旬の食材は常に変わるから、あるものをどう組み合わせるかを決めて、追求せざるをえないんです。そうしてつくった料理を、お客さんが『おいしい』とよるこんでくれたらありがたいです」

もったいない食堂は、これからも「食」に取り組みながら、人と人を笑顔でつないでいく。



ひと駅ごとに行きたいまち

京急線 普通電車の旅

72.5尺をぐるりとまわって再出発!

2nd Season / vol.09

けいきゅうとみおか

京急富岡駅 編

別荘ブームの面影を訪ねて

幕末から昭和の政治家たちがこぞって別荘を建てたりリゾート地で、「夏は富岡で閣議が開ける」といわれたほど。戦後の埋め立て事業で海岸線が遠のき景色が変わった今も、当時の面影と街を愛し誇りに思う人たちが出迎えてくれる。

この街のおもしろポイント **5**

- 1 丘が連なる「十三岡」が地名の由来という説あり
- 2 直木三十五ら文化人も来住
- 3 海水浴(潮湯治)発祥の地のひとつ
- 4 7月は富岡八幡宮の祇園舟神事が行われる
- 5 金沢区は住民1人あたりの公園面積が横浜市最大

大人は駄菓子を前に昭和にタイムスリップ&童心に戻る。

C ジュピのえんがわ

高橋秀子さんが開設した多世代コミュニティサロン。健康体操「自彊術」やワークショップなどが開催される。併設の駄菓子コーナーは富岡の子どもたちが楽しみながら金銭感覚を育む場。

☎045-294-2947 ④横浜市金沢区富岡東 3-14-47

⑧ 駅から徒歩約16分 ⑨ 11:00~16:00 ⑩ 土曜日ほか



金沢の海を

思わせる

海のチーズケーキと

パタフライピラテ。

「映えメニュー」で

ときめくひとときを♪

B cafe ちどり

カフェ巡りが趣味だったオーナーらが一目ぼれした古民家でオープン。店内では、お店のシンボルでもある千鳥紋様探しも一興。

☎070-8300-1696 ④横浜市金沢区富岡東 3-14-59

⑧ 駅から徒歩約17分 ⑨ 10:30~17:00 ⑩ 火曜日ほか

⑪ 海のチーズケーキ 900円、パタフライピラテ 700円





6〜7月は、約180mのあじさい坂が白、青、紫、赤で彩られる。緑深い道にまあるく咲くアジサイは、明かりのよう。



A 富岡総合公園

三条実美の別荘があった地で、今は野鳥が集う自然観察林や池、バイサイドを一望する展望台がある富岡のオアシス。桜並木にある隊門は横浜海軍航空隊の基地だった名残。

- ☎045-774-3003 (9:00~16:00)
- 📍横浜市金沢区富岡東 2-9
- 🚶駅から徒歩約18分

かやぶき屋根をくぐった先は雑木林と山野草。玉堂が好んだ風景が広がる。



E 旧川合玉堂別邸(ニ松庵)庭園

近代日本画の巨匠・川合玉堂が画室をつつた別邸庭園。富岡の庭師・植園2代目が作庭し、今は4代目と有志が事業活動を展開している。

- ☎080-1241-0910 (開園当日のみ) 📍横浜市金沢区富岡東 5-19-22 🚶駅から徒歩約2分 📅毎月第1土曜日の10:00~16:00 (10~3月は15:00まで)



京急富岡駅
大澤 伸一さん

駅のホームは街を知るスポットのひとつです

橋上駅舎のため見晴らしがよく、ホームから富岡八幡宮の社叢林が見えます。その辺りが海岸だったそうで、昔は海も見えたのでしょ。加藤牛肉店さんはメンチカツもおいしいのでおすすめです。ぜひ立ち寄ってみてください。



徹底的に脂を抜き、コンビーフは、ふわとろな口当たり。

D 加藤牛肉店

肉博士こと3代目店主・加藤 敦さんが厳選した山形牛が並ぶ。看板商品の手ほぐしのコンビーフは、常連さんのリクエストをかなえた逸品。

- ☎045-772-3383 📍横浜市金沢区富岡西 7-5-21 🚶駅から徒歩約3分 📅10:00~19:00 (休)日曜日 🍴手ほぐしビーフ (コンビーフ) 1本1,701円

京急グループ

おかげさまで20周年

黒湯天然温泉 みうら湯でイベント開催中!



～これからもいい湯わくわく～

ランタンで彩られた店内で、豪華賞品が当たるガチャガチャやおトクな回数券の特別販売&ラッキーナンバー抽選などを実施。また、併設の「コインランドリーみうら湯」が24時間営業になりました。

■開催期間 / 6月17日(土)～30日(金) ■詳細 / <https://www.miurayu.com> ■お問い合わせ / 045-710-1126

特定非営利活動法人あいだ×京急電鉄

大田区にて移動式子ども食堂実証実験を実施



地域交流拠点「COCOONひろば平和島」で、中学生以下のお子さまと妊娠中の方に無料で食事を提供します。当日はお子さま向けのイベントもお楽しみいただけます。下記HPよりご予約の上、ご参加ください。

■実施日時 / 6月22日(木)、7月22日(土) 各日11:00～18:00 ■会場 / 平和島駅隣接地域交流拠点「COCOONひろば平和島」 ■詳細 / <https://cocoonfamily.jp/ota/feature/kodomosyokudou-heiwajima>

京急電鉄

京急駅ナカポイントサービス

新規登録キャンペーンで500Pプレゼント!



京急駅ナカポイントサービスに新規登録いただくと、京急プレミアムポイントを500P進呈します。駅ナカの飲料自販機やセブン-イレブンなどでおトクにポイントが貯まりますので、この機会にぜひ登録ください!

■実施期間 / 開催中～6月14日(水) ■詳細 / <https://www.keikyu-point.jp/contents/ekinakamemberregistration2305>

京急百貨店

2023 夏の贈り物・お中元ギフト

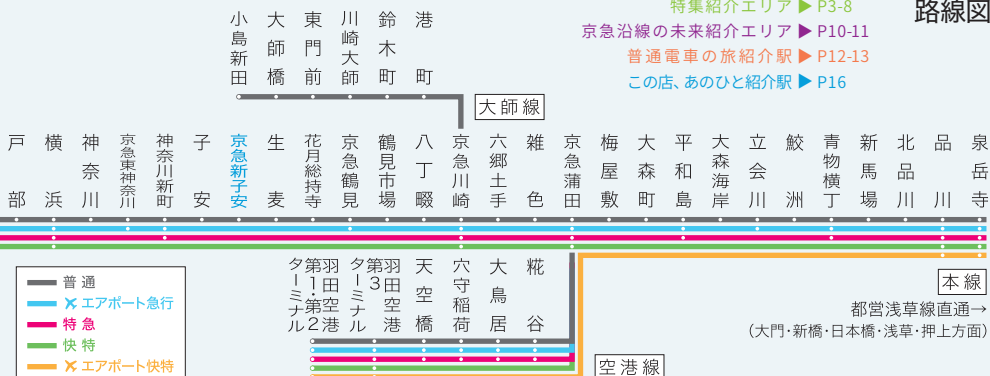


京急沿線の銘産品や横浜の銘菓など地元「かながわグルメ」をはじめ、少人数のご家庭やお一人暮らしの方へのギフトとして人気の「少量・小分けパックギフト」など約1,100点をご用意いたしました。大切な方へ、ご自分へのご褒美に。

■ギフトセンター開設期間 / 6月15日(木)～7月18日(火) 各日10:00～18:00 ■会場 / 7階 Events 場 ■オンラインショッピング(24時間申込可) / 7月19日(水) 11:00まで ■お問い合わせ / 045-848-1111 (代表 / 10:00～20:00)

路線図

特集紹介エリア ▶ P3-8
京急沿線の未来紹介エリア ▶ P10-11
普通電車の旅紹介 ▶ P12-13
この店、あの一ひ紹介 ▶ P16



京急沿線マガジン「なぎさ」「MIULIKE」バックナンバーは、京急電鉄オフィシャルサイト「KEIKYU WEB」でお楽しみください。



京急ストア

京急ストア創立90周年! 「京急ストア」と「もともちユニオン」で大誕生祭を開催します



6月に創立90周年を迎える京急ストア。日頃よりご利用いただいている京急沿線のみならず感謝を込めて、6月1日(木)~7月31日(月)に「京急ストア」と「もともちユニオン」にて大誕生祭を開催します。期間中は、創立90周年記念商品をはじめ、さまざまな企画をご用意。みなさまのご来店、お待ちしております!



京急ストア公式インスタグラムでは、大誕生祭をはじめ京急ストアのうれしい! 美味しい! 楽しい! 情報を配信中!



京急ストア公式アプリでおトクな情報配信中!

- 開催期間 / 6月1日(木)~7月31日(月)
- 詳細 / <https://www.keikyu-store.co.jp>
- お問い合わせ / 0120-34-0453 (京急ストアお客様ダイヤル / 10:00~18:00 ※土・日・祝日を除く)

YOKOSUKA CITY KURIHAMA

ともにスポーツで久里浜をいい街に

京急電鉄

F・マリノススポーツパーク号の運行と京急久里浜駅に装飾をします

昨年度に締結をした連携協定事業の一環として、久里浜地区の「F・マリノススポーツパーク」グランドオープンに合わせ、横浜F・マリノスの京急トレインジャックと京急久里浜駅の装飾を実施します。列車や駅がF・マリノス一色になるので、ぜひこの列車に乗って、京急久里浜駅とF・マリノススポーツパークへお越しください。



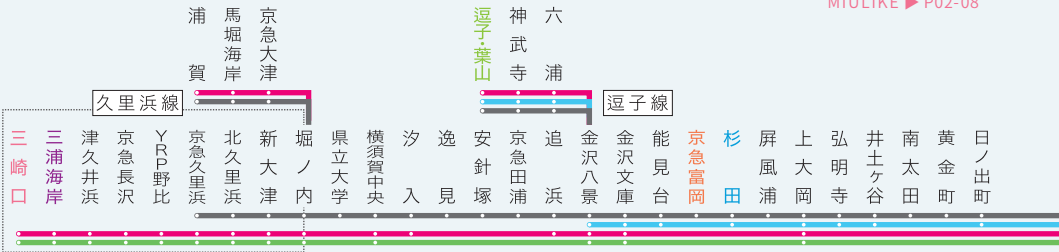
運行情報はこちら



横浜F・マリノス練習スケジュールはこちら

- 運行期間 / 6月5日(月)~8月6日(日) 予定
- お問い合わせ / 045-225-9696 (京急ご案内センター)

MIULIKE ▶ P02-08



京急線の時刻や運賃など京急に関するお問い合わせは京急ご案内センター (受付時間)9:00~17:00 年末年始は休業 ※営業時間に変更となる場合がございます。
03-5789-8686 / 045-225-9696
 京急ホームページ www.keikyu.co.jp

なぎさ 639号 MIULIKE Vol.21 2023年6月1日発行
 発行/京浜急行電鉄株式会社
 〒220-8625 横浜市西区高島1丁目2番8号
 ☎ 03-5789-8686 / 045-225-9696
 編集/株式会社京急アドエンタープライズ 印刷/山陽印刷株式会社

次号は、2023年8月1日(火)MIULIKEとの合併号を発行予定です



杉田駅・京急新子安駅
モノづくりの情熱も再現
日本初のトマトケチャップ
横濱屋本舗



京急新子安駅から徒歩約2分、第一京浜沿いには「トマトケチャップ発祥の地」と刻まれた石碑がある。その向かいには、子安で西洋野菜栽培とトマトケチャップが製造されていたことを記した説明板も。

日本初のトマトケチャップが横浜生まれだということを知っているだろうか？

横浜が開港した幕末、子安村（横浜市新奈川区子安付近）では、トマトなどの西洋野菜の栽培が盛んだった。栽培農家のひとり、清水與助よすけが傷んだトマトを有効活用できないかと思いをめぐらせ、1896（明治29）年に完成させたのが、「清水屋ケチャップ」だ。

子安の工業地帯化とともに、清水屋ケチャップは姿を消したのだが、約70年の時を経て、丸山和俊さんが復刻させ、2007年に横濱屋本舗で販売を開始した。ラベルは当時、與助がデザインしたものをそのまま採用している。

「トマトソースの開発を手掛けていたので

すが、身近だった横浜で日本初のトマトケチャップが

生まれたことを知り、復刻させたいと思うようになったんです」

料理人でありコーヒー鑑定士だった丸山さん。味をとことん調べるのは、経歴が培った習性だ。丸山さんは、與助の孫である金子とよ子さんの協力を得て復刻にいそしんだ。苦労したのは、味の決め手だった「ズク」がナツメグだと突き止めることだったという。

「復刻を通じて、與助氏のこだわりやチャ



レンジスピリッツも再現したかった」

清水屋ケチャップにほのかに感じるフルーティーでスパイシーな味わいは、2人の清水屋ケチャップの開発者のたまもの。ぜひ味わってみて。